



グローバル倫理規定

FY21 トレーニング資料



この研修を通して、下記の項目を理解して下さい

- ビジネスにおける倫理の重要性
- MTS倫理規定(MTS Global Code of Ethical Business Conduct)の活用方法
- 問題があった際の報告先
- 報復行為に対するMTSの姿勢
- 主なハイライト:
 - プライバシーとセキュリティ
 - 国際貿易
 - 不正行為の防止

当社は買収の協議中ではありますが、倫理規範に沿って行動することの重要性に変わりはありません。ビジネス上の意思決定に必要な際は、引き続き倫理規定および社内の各種ポリシーを参照してください。

倫理とはシンプルに「正しい行いをする」ということです。

それは、法律や規則を超えた意味を持ちます。

企業がビジネス倫理を基盤とする場合、長期的なビジネスの収益性と成功に大きな影響を与えることができます。

強い倫理文化は、企業の従業員、顧客、サプライヤー、投資家、その他の利害関係者との信頼関係を構築し、企業の競争上の優位性を高めます。



MTS倫理規定があることで、私たち一人ひとりがどのように行動すべきか、共通認識を持つことができます。

どうすれば”正しいことを成す”ということになるのか理解しましょう。

- ✓ MTSの社員になったその日から本規定を順守して下さい。
- ✓ 私たちは自分自身の行動に責任を持たなければなりません。

MTS倫理規定の全文を読み、理解し、日々実践するようにしてください。なお、本規定は社員・取締役・役員など、全ての社員に適用されます。

規定はMTS理念(Values)に基づいて作成されています

MTSは、世界中の製品をより良くするためのテクノロジーを生み出します。そして社員と企業文化を通じてその目的を実現します。倫理規定とMTSバリューは、私たちの企業文化の強固な基盤であり、私たちがどのように1つのチームとして働くべきか、またお客様と関わるべきかを示すものなのです。

倫理規定の内容

- ✓ CEOおよびリスク&コンプライアンス部最高責任者からのメッセージ
- ✓ 倫理問題に関する我々の責任
- ✓ コンプライアンスと重要事項の説明
- ✓ Q&Aや実務上のアドバイス
- ✓ 社内の相談窓口



皆さんは重要な役割を担っています

- ✓ 倫理規定の全文を読みます
- ✓ 本規定がどのように日々の業務に関わりがあるか考えます
- ✓ 倫理規定、社内の諸規定、関連する法律を遵守します
- ✓ 問題があった際はQ&A等を参照し、判断します
- ✓ 疑問を持った際は、行動を起こす前に規定を参照します

「いかなる規範やマニュアルも、すべての疑問を解決することはできません。私たちの行動がMTSの高い倫理観に沿ったものであるかの判断は、自身の良識次第です。リスク&コンプライアンス部はいつでも皆さんをサポートし、質問に回答し、問題解決のため対応します。」

- Phyllis Nordstrom
(フィリス・ノードストロム)
リスク&コンプライアンス部オフィサー

Speak Up!

当社の倫理規定に反しているのではないかと思う場面に遭遇したら、遠慮なく質問・相談してください。

常に”Speak Up”のカルチャーを持ち続けることで、倫理規定の存在が意味を持ちます。

- ✓ 何らかの問題に直面した場合は、ためらわずに相談してください。
- ✓ Speak Up(声をあげる)方法はいくつかあります。詳細は10ページをご覧ください。



上司に課せられた責務

- ✓ 模範を行動で示します
- ✓ 法律や倫理、コンプライアンスの観点から正しい行いがどのようなものか伝え、実践することを促します
- ✓ “Speak Up” のカルチャーを根付かせます
- ✓ 社員から何らかの報告を受けた場合は速やかに上層部に伝えます
- ✓ そういった社員の倫理的行動を認め、評価します
- ✓ 社員が必ず倫理トレーニングを受講するようにします



疑問が生じた場合は、行動を起こす前に規定を参照してください

正しい行いに近道はありません。難しい状況に直面した場合は、以下を自分自身に問いかけたうえで意思決定をして下さい。

- ✓ これは法律に沿ったものであるか。
- ✓ これはMTSの理念に沿ったものだろうか？
- ✓ 本社およびローカルの諸規定やプロセスに準拠しているか？
- ✓ 自分では間違っていると思うが、それでもしなければならぬというプレッシャーを感じるか。
- ✓ 自分自身の意思決定に誇りを持てるか。

倫理規定では、日々の業務の中でどう行動すべきかを全て網羅することはできません。

また、倫理規定だけで何かを判断・判定することも困難です。ですので、疑問が生じた場合は勇気をもって相談してください。



問題があった際の相談先



直接相談 リスク&コンプライアンス部門、直属の上司、HR、または各国の倫理委員会



電子メール リスク&コンプライアンス部門 mts_risk_and_compliance@mts.com



WEB MTS アラートライン <https://alertline.com>



電話 アラートライン番号 888-321-5562（行動規範に記載されている地域の電話番号）



アラートラインは匿名で利用できます

MTSでは、誠意をもって質問を投げかけたり発言した人への報復行為を禁じます

報復行為に関与したものは誰であれ、倫理規定に違反したことになり、解雇を含む懲罰の対象となります。



報復行為について懸念や不安がある場合は、速やかに相談してください。

報復行為とは、問題を報告したり調査に協力した結果、同僚や上司、その他の管理職から処罰や嫌がらせを受けることを言います。

誠意とは、悪意または他を欺こうとする気持ちのない、正直な信念を指します。これは、私たちが常に正しいという意味ではありません。

プライバシーとセキュリティ

MTSは、従業員、顧客、サプライヤー、その他外部業者の個人情報のプライバシーとセキュリティの保護に取り組んでいます。

職場におけるプライバシーとは、個人的または機密と見なされる情報を、破損や漏洩や紛失から保護することです。

ポリシーORC-012, ORC-013, ORC-014, ORC-015

個人情報の例

- 名前
- 年齢
- 生年月日と生まれた場所
- 自宅電話番号
- 医療記録

セキュリティとは、情報の機密性、完全性、利用性を保護することです。

ポリシーIT-013, IT-021

その目的

- 偶発的または意図的な不正な変更、破壊、または開示から情報を保護します
- 情報を処理、保存、送信するために使用している機器やソフトウェアのセキュリティを保護します

個人情報を保護することはすべての人の責任であり、業務の中で日常的にできるセキュリティ対策があります。

プライバシーリマインダー

- ✓ 業務上必要な最低限の個人情報のみを収集、使用、共有、保存する。
- ✓ 機密性の高い個人情報についてはパスワード保護などでより一層セキュリティを強化する。
- ✓ 個人情報は、業務上必要な者でのみ共有する。
- ✓ 収集した個人情報は、当初の業務上の目的のためのみ保管する。
- ✓ 不要になった個人情報は、破棄・削除・匿名化する。



ハードドライブやネットワークドライブに保存されている機密性の高い会社情報や個人情報は、不要になった場合には廃棄すること

サイバー攻撃は年々高度化・頻度を増しており、社会の大きなリスクとなっています。それらは大小の組織に起こります。

サイバー攻撃はどのようにして起こるのか

- サイバー攻撃の多くは、従業員から始まります。
- 従業員はマルウェアやフィッシングイベントの餌食になりますが、多くの場合、(ウェブサイトへのリンクや添付ファイルを含む)メールを開いたり、ウェブサイトアクセスしたりします。
- そうすることで、PCへのサイバー攻撃が開始されます。
- PCが攻撃されると、洗練された犯罪組織が企業のITシステムを横方向に移動し、機密データを見つけるのに短時間で済みます。



サイバー犯罪は、2021年には6Tドルになると推定される大規模な営利産業になっている。

サイバー攻撃を防ぐには、すべての始まりは従業員から始まるのが一番です。

セキュリティ上の注意事項。すべての電子メールやウェブサイト閲覧時には、以下の手順に従ってください。

- ✓ 送信者が不明な場合、予期せぬ添付ファイルがある場合、または疑わしいと思われる場合には、外部ソースからのメールの添付ファイルを開かないでください。
- ✓ 送信者がわからない場合や、見覚えのないサイトへのリンクは絶対にクリックしないでください。実際のサイトアドレスを調べて、本文中に表示されているものと一致していることを確認してください。
- ✓ ビジネスでも個人的な利用でも、信頼できる企業以外のウェブサイトには絶対にアクセスしないようにしましょう。
- ✓ 承認されていないソフトウェアや不明なソースからダウンロードしたソフトウェアは絶対にインストールしないでください。
- ✓ セキュリティ上の脅威の可能性があるのでワークステーションが分離された場合は、情報セキュリティ部門に連絡してください。
- ✓ 質問がある場合は、IT ヘルプデスクを通して情報セキュリティ部門にお問い合わせください。



Web サイトをクリックしたり、Web サイトのリンクや添付ファイルを含む外部電子メールを開く際には、懐疑心を持つことが重要です。不明な点は、ITヘルプデスクにお問い合わせください。

プライバシー/セキュリティ問題を報告する方法



MTSおよび従業員は、プライバシーおよびセキュリティに関する法律や規定を遵守する責任があります。

 問題や懸念事項がありましたら迅速に報告してください

プライバシーに関する問題や
懸念事項

privacy@mts.com

または

セキュリティに関する問題や
懸念事項

informationsecurity@mts.com、
またはITサービスデスク

リスク&コンプライアンス事務局

mts_risk_and_compliance@mts.com

国際貿易

国際貿易とは、商品、サービス、テクノロジー、知識、およびソフトウェア等を国外に移すことです。輸入と輸出の両方を意味します。



輸入

ある国から別の国や地域へ移動



輸出

ある国や地域から別の国へ移動

ビジネスを行うすべての国において、輸出入を取り巻くあらゆる規制が存在します。MTS Global Tradeポリシーに準拠し、コンプライアンスをサポートしま

Global Trade Policy ORC-008
Supporting ORC-008 Procedures

- 法律は頻繁に変更されたり、国によっても異なります
- 違反することは違法です、
- 厳格な罰則が伴うこともあります



企業は、国家安全保障と外交政策の利益のために、輸出と再輸出を適切にコントロールする重要な役割を担っています。

当社では効果的な輸出管理のための方針を定めています。その一つとして従業員は”お客様を知ること”が必要です。

”お客様を知る”とは、取引先の合法性を検証し、不正な取引を行わないことを意味します。

あなたの責任

- ✓ **透明性を保つ**：社内システムから得られる情報とともに、その業者から提供されるすべての情報に目を通してください。
- ✓ **レッドフラッグを見逃さない**：不適切な用途やユーザー、または送付先への輸出を示唆するような、異常な状況に対して敏感に反応してください。
- ✓ **グローバル貿易チームとの連携**：質問がある場合は、Import-Export-Screening-EP@mts.com または Legal@pcb.com で、グローバル貿易チームに遠慮なく問い合わせください。

グローバル・トレード・チームは、輸出取引への参加が禁止されている、または制限されている人や組織を監視するために、政府のリストを確認し、ビジネスを行うためのライセンスを必要としています。

レッドフラッグの例として、お客様と取引をする際に注意すべき点を挙げます

透明性の欠如

- 顧客が商品の使用目的に関する情報を提供することに消極的である。
- とりわけ購入の用途を国内使用か、輸出用か、再輸出用かについて質問すると、あいまいである。

通常のビジネスとの不整合

- 製品が購入者のビジネスラインに適合していない。
- 購入された商品が配送先の国の技術レベルと互換性がない。
- 購入者に十分な取引履歴がない。
- 製品の特性をよく理解していないにも関わらず購入したがつている。
- 定期的なインストール、トレーニング、またはメンテナンスサービスを断られた。

配送について

- 商品や送付先から、配送経路が正常ではない。
- 梱包方法が、記載されている出荷方法や送付先と合っていない。
- 納期が曖昧であったり、配送先におかしな点がある。

支払方法

- 資金調達が目的の場合、非常に高価なアイテムにも関わらず現金決済を希望することがある。

これらの赤旗のいずれかを確認した場合は、上司に報告するか、現地のグローバルトレードチームに連絡して詳細を確認するか、Import-Export-Screening-EP@mts.com または Legal@pcb.com に電子メールで連絡してください。

正確な注文情報はビジネス上の意思決定を行うために、またグローバルな貿易要件への準拠に非常に重要です。

注文情報は営業、財務、税務、買掛金・売掛金など経理担当者、エンジニア、オペレーション、リスク&コンプライアンスの各部門が必要とし、すべての情報は正確かつ不備なくシステム内で管理される必要があります。

正確で不備のない「注文情報」とは？

- **当事者情報**：購入、使用、移動、調達、支払いに関わる当事者の情報。
- **製品情報**：既存のビジネスツールを活用した製品とサービスの説明。
- **販売価格**：割引や手数料、その他一切を含める製品やサービスの価格に関する情報

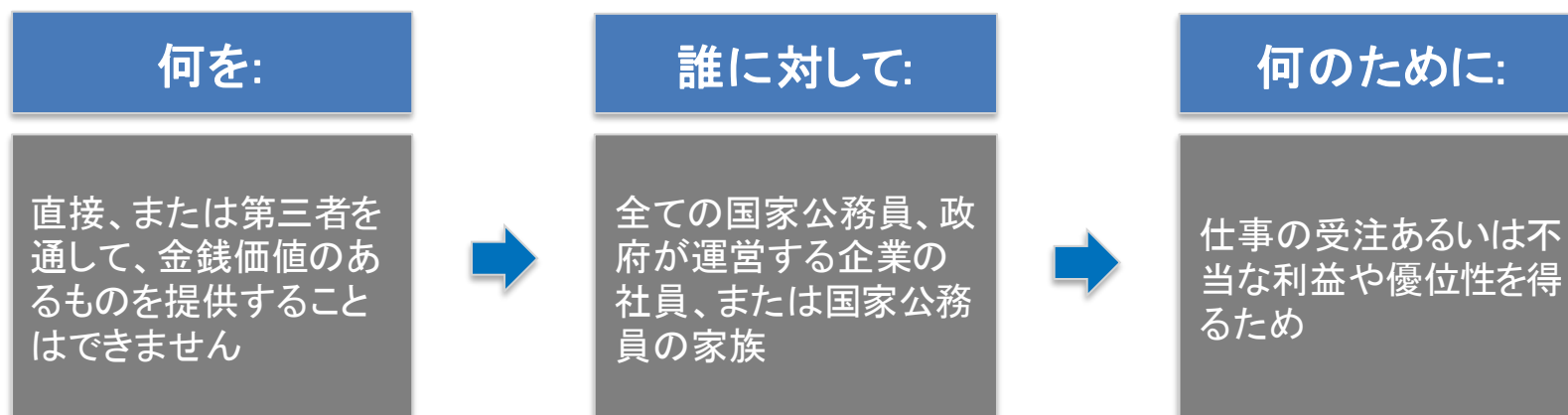
キーリマインダー

- ✓ MTSのベースとなる契約条件を使用してください。
- ✓ 最新のビジネスツール、テンプレート、ワークシートを使用してください。

不正行為の防止

海外腐敗行為防止法 (FCPA) とは？

FCPA (海外腐敗行為防止法) は、MTSの社員および当社に代わってビジネスを行う者が、事業を受注/確保するために、あるいは何らかの不当な利益や優位性を得るために、国家公務員に対して賄賂や類似した金品を支払うことを禁じる法律です。



賄賂はどんなに少額であっても違法となります

"Anything of value (何らかの価値のあるもの)"は全て、賄賂となります。
現金のみでなく、幅広く様々なものが賄賂とみなされます。



現金
小切手
郵便為替
ディスカウントの提供
報奨金
キックバック
商品の無料での提供



国家公務員の家族
に対する奨学金など、
間接的な支援



ギフト (現地の慣習を超えたもの)
商品券
ギフトカード
慈善寄付
政治献金



コンサートチケット、
スポーツ観戦チケット、
旅行チケットなど、エン
ターテイメント関係



次に挙げるような優遇措置：
資源や装置の使用
設備の使用
融資
仕事の提供
保険金の支払い

不当なビジネス上の
優位性を得るために
使用されるものはす
べて賄賂とみなされ
ます。



次に挙げるようなもてなし：
食事、飲み物、ホテル、トラ
ベル、宿泊、交通機関
このようなもてなしは賄賂と
みなされます：
- 妥当な金額ではない。
- 過度である。
- ビジネス上必要なものと
は言えない。



MTSは事業への影響の大小にかかわらず、不正行為や賄賂に対し厳格な姿勢を貫きます。

この方針は、国やそれぞれの慣習にかかわらず、全員に適用されます。

- ✓ 賄賂や不正行為の防止に関するMTSの基本方針や対処方法を読み理解して下さい
- ✓ 常にMTSの方針と手順に沿って業務を遂行して下さい
- ✓ スライド10に記載されている報告オプションを使用して、懸念事項を報告します。

FCPA Policy ORC-010
Supporting ORC-010 Procedures

結局のところ、我々が誇りとすべきは一人ひとりの正直さや誠実さ、良識に他ならないのです。

法律やコンプライアンス、倫理規定に対する私たちの責務を一文をもって完全に定義することは出来ません。

本規定を読むことで次のように役立てます:

- ✓ MTS社員として自分が期待されていることを理解します
- ✓ 疑問が生じた際の解決の手がかりとします
- ✓ 問題に直面した際の相談先を把握します

良識を持って次のように行動します:

- ✓ 正しい行動をとります
- ✓ 決断をするときは倫理的原則およびMTS Valuesに基づいて行います

